

文芸協 すざか

第 33 号

発行所
須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747

須坂市中央公民館内

TEL(026)245-1598 (有)22-1598

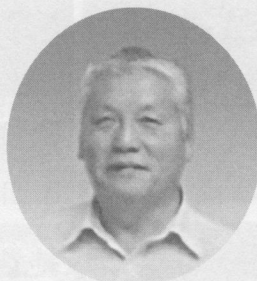
印刷所：ヒタキ印刷株式会社



第五十回記念文化祭に思う

須坂市文化芸術協会会長

南澤 汎 山



地球が寒冷化か。通常南・北極の磁場の同時反転が相反して、反転が起こりつつあるようです。温

暖化のせいでしょうね。さて昨年の3・11東日本・県北部大震災・津波そして原発事故、未だ先の見えないのが現状。今年に入り、登校する子供達の列に車が突っ込む、気候の急変による竜巻、山の遭難等々、無限の自然の力には、人間太刀打ち出来ないのが現実です。でも明るい話題もあります。五月二十一日は、平安時代以来九三二年ぶりの金環日食、日本の人口2/3、約八千三百万人が輪状に輝く太陽が見る事が出来ました。翌五月二十二日は電波塔では、世界一に誇る東京スカイツリー(六三四M)がオープン。そしてロンドン五輪オリンピック代表には、田中三兄弟が選抜され、日本体操界では初の快挙との事、大いに健闘を期待したいと思えます。

さて、協会事業で、四年目の公民館との「連携文化講座」三年目とな

る子どものみの舞台「子どもわくわくフェスティバル」お陰で年々参加者も増え有難いと感謝申し上げます。そしてメイン事業であります『市民文化祭』今年で五十年を迎える事が出来ました。先人の心温まる熱意と努力により今日迎ええられる事、これ又感謝で一杯です。十月二十七日(出)二十八日(日)、会場は久し振り、一同にしてメセナ全館にて開催されます。四部門(謡曲、音楽、芸能、展示・茶席)二日間出演、出品していただき、そして有志による創作劇「第十三代須坂藩主 堀直虎公の生涯」を上演致します。

縁なす山々と上信越高原国立公園に抱かれ、情緒豊かな千曲川、そして北信五岳、さらには遠く北アルプス連峰を眺望する風光明媚な須坂市。経験に学ぶのではなく、歴史に学ぶ。歴史と伝統に培われた文化芸術は、心豊かな、心あふれる人間性を育くみ、個人及び地域に大いに貢献するものと思えます。個々の花がきれいに咲き、全体として調和のとれた花は、人々の心を和ませます。人と人、心と心のつながり(絆・結い)で大きな力に変え、誇り高い文化都市、先達になるようがんばりましょう。

最後に、会員の皆様の益々の精進と、行政、関係各位に感謝し、第五十回記念文化祭の成功に向け、皆様方の絶大なる御協力、宜しくお願い申し上げます。

共創による文化芸術の振興を

須坂市長 三木正夫



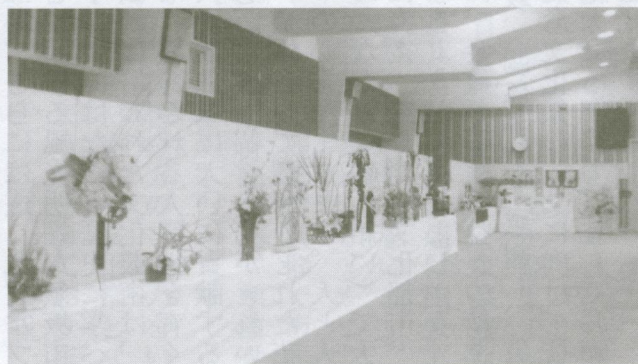
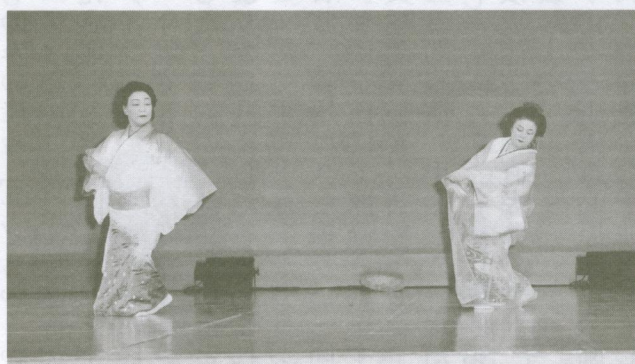
須坂市文化芸術協会会員の皆様方におかれましては、御健勝で日夜それぞれの文化芸術に御精進され、須坂市の文化芸術の振興にご尽力されておられますことに敬意と感謝を申し上げます。また、文化芸術に関係されている多くの市民の皆様方の重要な発表の場である、市内最大級の市民文化祭の開催をはじめ、文化芸術講座の開催、生涯学習市民のつどい、また中央公民館一斉清掃や多くのイベントにボランティアでご支援いただくなど、永年にわたり市政全般にご協力をいただいておりますことに改めて御礼を申し上げます。

さて、須坂市では、「文化芸術振興ビジョン」に基づき、文化の醸成と地域の活性化を目指しております。

す。その一環として、「すざか市民総合大学」を設立しました。これは、市内で行われる講座や講演会、イベントなどに参加することで、須坂を知り誇りに思う人Ⅱ「須坂人(すざかびと)」になることを目的としています。また、貴会員の皆様と中央公民館の共催で、今年で四年目になる連携講座を開催させていただいております。この講座は、①伝統ある文化芸術の継承と後継者の育成②香り高い須坂文化の発展③市民の生涯学習及び公民館活動の推進④共創による地域づくり、の四点を目的としております。このように皆様と手を携え、共創により「須坂文化の継承と創造」、「須坂のひとづくり」といった生涯学習の推進施策を進めてまいりますので、貴会並びに会員の皆様方の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年度
第49回
市民文化祭
から



文化芸術講座の紹介



お茶席マナー



さわやか謡曲教室



初心者のための箏(こと)教室



花にふれてみよう

新加入団体 《 展 示 》

須高歌人クラブ 代表 神林 啓助

よろしくをお願いします。

伝統文化・芸術の継承活動

須坂市中央公民館長 牧 光 央



須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、日ごろ様々な活動を通して、公民館事業にご理解、ご協力をいただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

伝統ある文化・芸術の継承と後継者の育成、香り高い須坂市文化芸術協会の皆様に携わって、「いつでも」「どこでも」「だれでも」文化芸術活動に参加できる機会提供の場として開催している文化芸術講座が貴会に所属されている方をお願いし、参加者が伝統

文化や芸能に触れ、体験することから愛好者、後継者の増加を図るもので、本年は、新たに「初心者向け短歌教室」と「楽しいフラダンス」の二講座を設けていただき、六月から順次八講座がスタートしております。

このような継続した取り組みが、当市の文化芸術振興を支えており、昨年三月三十一日策定の須坂市文化芸術振興ビジョンにおいても「当市の発展の基礎に文化芸術活動があり、そこから自由な発想や新たな仕組みが生まれてきたこと、ま

た、文化芸術が人口減と高齢化が急速に進む世界でも類を見ない大きく変わる社会環境にあっても、継続して発展していく基盤であることを示している」とうたわれ、そして「これからの「すざか」の発展継続・持続には、一人ひとりの文化芸術への取り組みが不可欠で、そこから新たな創造が繰り返されるよう、住民と行政が共に取り組みを進めていく」としております。

文化芸術講座の受講者が講座修了後に、引き続き公民館で学習しているサークルもあり、市民が文化芸術に触れる場を数多く設けていただいている、貴会会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

本年、須坂市文化芸術協会発足五十年を迎えられ、その間の地域に根ざした伝統文化、芸能の保存、継承活動に、あらためて敬意と感謝を申し上げますとともに、南澤会長様をはじめ役員の皆様そして会員の皆様の益々のご活躍と、貴会の一層のご発展をご祈念申し上げます。

文芸協と私

①

謡曲の妙

須坂宝生会 宮澤 正幸



転進を期にこの市に來た折義母に勧められた謡曲に興味湧き、暫く考えた後宝生流に入門しました。

その頃、地域の直会に出る機会が増え、新参で新前の私は恰好のお肴係となりました。この宴席で謡った拙い一関に耳を傾け、励まして頂けたことで、知人もいない伝統のこの地に馴染め、今日があるような気が致します。

その後、謡、仕舞、舞囃子、能と稽古を続け、各種の大会へ参加して來ました。この過程で許状を頂き、家元、職分等との面識を得ると共に多くの流友を持つことが出來ました。

謡曲が縁で著名な文士との出會もありました。また昨年から文系私大に依頼され能樂の講義をしています。理系分野を生業とする私には思いも寄らない事で大変嬉しく思っています。

市民文化祭は觀世流の方々との交流の場です。積極的に参加し、流派を超えて謡曲文化の振興に尽力されている皆様の思いに應えて行きたいと考えています。

伝統を守り文化を育んできたこの市に、温かく迎えて頂きましたことに感謝し、本協会の益々の發展をお祈り致します。

文芸協と私

②

枝垂れ桜を植え

深山 桜霞



足が痛い腰が痛いと言ってきたが、いざお稽古場に来ると気持がしゃんとする。端背も腰もしつかりと伸びた。端背も腰もしつかりと伸びた。端背も腰もしつかりと伸びた。

「どこがわるいの」と言いたいくらい明るい笑顔で頑張っています。練習時はゆつくりと足並みを揃えて、仲良く進む事にしています。

お稽古が第一です。がお茶飲みサロンと一日を楽しんで頂く。小さな稽古場です。いつまでも健康で日頃のストレス解消になればと願っています。

「唄が聞えたので見に來たよ」「お茶飲ませて」と時々立ち寄ってくださいる人もいます。ともかく気軽に楽しみながらやっているグループです。よかったら遊

びに來て下さい。お待ちしております。

カスミ会としたのも小さくとも大きな花をいつそうひきたたせて何時までも枯れずに長くこの会がつづき

ます様にとつけました。

昔の言葉に「一年の計は稲を植えるにあり」「一〇年の計は木を植えるにあり」「二〇〇年の計は人を育てるにあり」を目標にしていきたいと思っています。

文芸協の方々には大変お世話になっておりますが今後共よろしく願います。

平成24年度 文化芸術協会役員名

会長	南澤 汎山	八八汎山会
副会長	花房多都藏	花房多都藏社中
副会長	神林 寿一	柏瀬会
副会長	山崎 芳雄	男性コーラス・スザカ
副会長	小林 孝子	草月流
会 計	高坂恵美子	朋友バレエ
事務局長	小倉 秀夫	神洲流須高吟道会
幹 事	卯之原慶治	青誦会
幹 事	北原 勲	石州流
監査員	湯本 貴大	深山流豊業社中・須坂かすみ会
監査員	市川 捷雄	ハーモニークスモス

文芸協と私
③

歌と共に五十年

内山勸歌謡教室 西沢盛男



私は十六歳頃より歌が好きになり、レコードを買って何回も聞いて覚えまして。当時はまだカラオケもカセットテープも無く、好きな歌を何十回も聞いて覚えるしかありません。歌は世に連れ世は歌に連れと言われる昨今、自分の気持が嬉しい時又悲しい時楽しい時と、気持に合った歌を口づさみ自分をコントロールするのです。思い出の一番は二十歳頃東京に仕事の勉

強で、十五日間三年続けて行った時日曜日には必ずバスに乗りました。長時間の移動の時にはバスガイドさんと歌のコラボをして楽しみました。この時カラオケが無いから歌を三番までしつかりと覚えなければ歌えません。歌は私にとって人生の大きな支えになりました。現在の内山勸歌謡教室には今から十九年程前に入会し仲間の皆さんと仲間良く歌の上達のために頑

張って来ました。勉強すると奥が深いですね、一字一句に込める感情の表現は唄う程に難しく思いますが。でもそれを承知で好きな歌を何百回も唄い込む、そうすると心が洗われて来ます。

静寂の中、釜の中で湯の沸く音・柄杓の湯を茶碗へ注ぐ音・茶筌を振る音等、日常を離れて味わう事のできるお茶に魅せられてこの道へ入門しました。入門してわかった事は、一般にお茶と言われているものは、茶事の中で振るまわれる濃茶・薄茶のことを指すということでした。



客を招き、軽い食事（懐石）を差し上げその時宜に応じたお道具を使って、濃茶・薄茶をもてなす正式なお茶の事です。日頃のおけいこは、茶事を催すための基礎的な修行に他ならず、立ち居ふるまいや、数々の

文芸協と私
④

日常を離れて

江戸千家 渡辺和子

る所以がここにあります。お茶は総合芸術といわれる程幅広く奥深い。一碗の茶をより良い状態でお客に差し上げるために工夫を重ねた先人達の思いを受け止め、茶の道の奥深さ、楽しさを味わっていききたいと思っています。

第50回記念 須坂市民文化祭日程

平成24年10月27日(土) AM10:30~PM4:30

10月28日(日) AM10:00~PM4:30

メセナ大ホール

・謡曲・音楽・芸能

メセナ小ホール
2階和室・ロビー

・展示・茶席

平成23年度須坂市文化芸術協会決算書

収入金額 1,101,475円
支出金額 1,073,755円
差引残高 27,720円 (次年度繰越金)

収入の部

単位・円

科 目	決 算 額	予 算 額	増 減	摘 要
繰 越 金	57,443	57,443	0	前年度から
会 費	544,000	565,000	▲ 21,000	49団体×3,000円+ 794人×500円
補 助 金	500,000	500,000	0	須坂市から
雑 収 入	32	50	▲ 18	預金利息
合 計	1,101,475	1,122,493		

支出の部

単位・円

科 目	決 算 額	予 算 額	増 減	摘 要
会 議 費	25,440	30,000	▲ 4,560	監査・三役会等
渉 外 費	59,000	65,000	▲ 6,000	交際費
普及活動費	32,359	35,000	▲ 2,641	
通信・事務費	34,456	25,000	9,456	用紙・はがき等
負 担 金	0	10,000	▲ 10,000	須高文化交流会
事 業 費	898,500	920,000	▲ 21,500	
名簿・会報	73,500	100,000	▲ 26,500	
広告	105,000	95,000	10,000	
プログラム・ポスター	175,000	180,000	▲ 5,000	
謡曲部	50,000	50,000	0	
音楽部	95,000	95,000	0	
芸能部	300,000	300,000	0	
展示 葉書	100,000	100,000	0	
予 備 費	24,000	37,493	▲ 13,493	別途積立金他
合 計	1,073,755	1,122,493	▲ 48,738	

基金（別途積立） 240,000円

平成24年度須坂市文化芸術協会予算書

収入金額 1,304,752円
支出金額 1,304,752円
差引残高 0円

収入の部

単位・円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	27,720	57,443	▲ 29,723	前年度から
会 費	537,000	565,000	▲ 28,000	50団体×3,000円 836人×500円
基金繰入金	240,000	0	240,000	
補 助 金	500,000	500,000	0	須坂市から
雑 収 入	32	50	▲ 18	預金利息
合 計	1,304,752	1,122,493	182,259	

支出の部

単位・円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 議 費	25,000	30,000	▲ 5,000	監査会・三役会
渉 外 費	55,000	65,000	▲ 10,000	交際費
普及活動費	35,000	35,000	0	
通信・事務費	25,000	25,000	0	用紙・はがき等
負 担 金	5,000	10,000	▲ 5,000	須高文化交流会
事 業 費	890,000	920,000	▲ 30,000	
名簿・会報	70,000	100,000	▲ 30,000	
広告	95,000	95,000	0	
プログラム・ポスター	180,000	180,000	0	
謡曲部	50,000	50,000	0	
音楽部	95,000	95,000	0	
芸能部	300,000	300,000	0	
展示 葉書	100,000	100,000	0	
50回記念事業費	240,000	0	240,000	
予 備 費	29,752	37,493	▲ 7,741	
合 計	1,304,752	1,122,493	182,259	

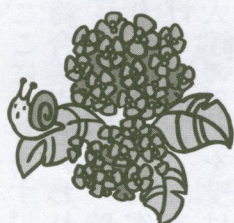
平成24年度須坂市文化芸術協会事業計画

期 日	事 業	内 容	場 所
4/ 2(月)	第一回常任理事会	定期理事会について	中央公民館
4/10(火)	平成24年度定期理事会	決算報告・事業計画など	中央公民館
4/18(木)	第二回記念誌編集委員会	記念誌の発行について	中央公民館
4/23(月)	会報委員会	文芸協だより発行について	中央公民館
4/24(火)	連携講座	公民館・役員会の打ち合わせ	中央公民館
5/22(火)	連携講座	公民館・各講座の打ち合わせ	中央公民館
6/ 1(金)	中央公民館一斉清掃		中央公民館
6/ 2(土)	連携講座の開始	8講座	
6/15(金)	第二回常任理事会	理事会について	中央公民館
6/23(土)	第一回理事会	会費納入、会報・会員名簿配布等	中央公民館
7/26(木)	行政懇談会		シルキー
9/	第三回常任理事会		中央公民館

期 日	事 業	内 容	場 所
9/	第二回理事会	市民文化祭プログラム配布等	中央公民館
9/17(月)	第四回こどもわくわく フェスティバル		メセナ 小ホール
10/27(土)	第50回記念 須坂市民文化祭		メセナ全館
10/28(日)		創作劇、記念式典	
12/	中央公民館一斉清掃		中央公民館

平成25年

期 日	事 業	内 容	場 所
1/	新年交流会	記念誌発行祝賀会	
2/	須高文化交流会	高山・小布施・須坂文化交流会	小布施町
随 時	記念事業委員会 各部会、各委員会		
3/	会計監査	平成24年度収支決算	中央公民館



編集委員
小林 孝子・高坂恵美子
藤澤 章道・卯之原慶治
茂野 一雄・竹前 忠房
森川紀代子・北原 勲
篠原 友子

今年は市民文化祭五十年目を迎えました。文芸協だよりも33号をお届け出来ますことうれしく思います。記念行事として、メセナホールで四部門共催で市民文化祭が計画され、準備を進めております。会員皆様方のご協力をいただき、盛大な文化祭となりますよう祈念しております。

(小林)

編集後記

